＜様式３-４＞

帯同者渡航費支援申請書

|  |  |
| --- | --- |
| 採用年度 |  |
| 資　　格 | PD RPD |
| 年度受付番号 |  |

令和　　年　　月　　日

独立行政法人日本学術振興会理事長　殿

フリガナ

登録名

　下記のとおり、特別研究員の研究課題の遂行のための継続した１年以上の海外渡航に帯同する、配偶者（パートナー）及び扶養する子に係る渡航支援を申請します。また、下記の記載事項に虚偽がないことを誓約いたします。（注）①

記

１．本申請書により希望する渡航支援の種別（注）②

往路航空券　／　復路航空券

２．渡航期間、渡航先等

※特別研究員本人の渡航期間、渡航先等と帯同者の渡航期間、渡航先等は同一かつ渡航期間は1年以上である必要があります。

　　・渡航期間：（出国日）令和　　年　　月　　日　～（帰国日）令和　　年　　月　　日

　　・渡航先の国名：

　　・渡航区間：　　　　国　　　　　空港　～　　　　　国　　　　　空港

３．帯同者の氏名・続柄

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 氏　名 | 続　柄 |
| ① |  |  |
| ② |  |  |
| ③ |  |  |

|  |
| --- |
| 【受入研究機関の事務局が確認（チェック）してください。】  受入研究者の確認：確認済  部局長（研究機関長でも可）の確認：確認済 |

■受入研究機関事務局　問合せ先（受入研究機関の事務局にて記載ください）

機関名・部署名：

メールアドレス：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号：

（注）

①　渡航開始後、本申請書の内容に変更が生じた場合は本会に連絡してください。また、本申請書の内容に虚偽があることが判明した場合には、特別研究員の資格を喪失し採用を終了するとともに発券済みの航空券に係る費用、及び資格喪失以後に支給した研究奨励金の返還を求めることがあります。

②　一度に往路・復路両方の航空券の発券はできません。復路航空券の支援を希望の場合は、渡航終了1ヶ月前までに再度本申請書を提出してください。

③　本会からは特別研究員本人への渡航費支援はありませんが、科研費等から受入研究機関の旅費関係規定に基づく実費相当分の旅費を支出することは可能としております。

④　本申請書の内容を本会で確認後、指定旅行代理店の連絡先を特別研究員本人にお知らせします。特別研究員本人から指定旅行代理店に発券手続の依頼を行ってください。